

1. 令和元年度事業報告について

我が国経済は、緩やかな回復が続いている。輸出はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環は着実に回りつつある。令和元年度の我が国経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかに回復してきたが、新型コロナウイルスによる経済的影響が、業種や地域、また国内外を問わず、経済全体に幅広く及んでおり、厳しい状況にある。

そうした中、当協会は、令和元年度も下記のとおり定時社員総会 1 回及び、通常理事会 3 回を開催し、また、基幹的分野である業務、海務及び労務の 3 専門分野を中心とする委員会活動等を通して協会諸事業の拡充・推進を図った。

1. 会務運営上開催した会議

(1) 定時社員総会

開催回数 1 回 出席人数 51 名
(第 65 回)

(2) 通常理事会

開催回数 3 回 出席人数 64 名
合 計 4 回 115 名

2. 事業運営上開催した会議等

(1) 業務専門委員会	開催回数 1 回	出席人数 37 名
(2) 海務専門委員会	開催回数 2 回	出席人数 63 名
(3) 労務専門委員会	開催回数 1 回	出席人数 37 名
(4) 機関誌編集委員会	開催回数 1 回	出席人数 12 名
(5) 各委員会小委員会	開催回数 11 回	出席人数 148 名
合 計	16 回	297 名

3. 事業実施概要

業務、海務及び労務の 3 専門委員会等を中心に、次のとおり事業活動を推進した。

(1) 専門委員会活動

①業務専門委員会

各地区における曳船事業を取り巻く環境を取り上げ、港湾の機能及び企業運営にかかわる諸問題を討議した。また、タグバウチャーについてのアンケート結果

について報告され、意見の交換を行った。

昨年度設置された、小委員会「船員採用問題等検討委員会」では広報ワーキンググループによるポスター、小冊子及び採用ホームページ等の検討状況が報告され、意見交換を行った。また、図書ワーキンググループより、出版する本では写真を中心にタグボートの仕事を紹介すること、写真について協力を得たいこと、今後のスケジュール等が報告された。

第2回委員会は新型コロナウイルスの状況に鑑み中止とした。

②海務専門委員会

タグボートの近代化に資する技術、資材の調査研究を継続して行った。現場におけるヒヤリハット事例を収集、分析し、タグボート作業の安全を推進する活動を継続した。

港湾タグボート係留基地の確保と整備に関する要望を国土交通省港湾局に提出し、横浜・川崎港地区及び千葉港地区では係留基地問題対策委員会で、関係者との協議を引き続き進展させた。また、堺泉北港地区と沖縄地区においても係留基地問題対策委員会が立ち上げられた。

③労務専門委員会

9月に第1回委員会を開催し、各地区の労務関連情報の交換を継続した。相互扶助のための労働災害総合保険団体契約を継続した。

第2回委員会は新型コロナウイルスの状況に鑑み中止とし、各委員間で個別に情報交換することとした。

(2) 教育・訓練活動

①技術研修

協会主催による機関部乗組員を対象とした技術研修会を2回開催し、東日本地区（横浜市で開催5社18名参加）及び西日本地区（神戸市8社12名）で計30名が参加した。

②委託研修

海技大学校に委託している研修では、甲板部を対象に「タグシミュレータ研修」(2回)、「タグBRM訓練研修」(2回)及び機関部を対象に「電気研修(初級)」(3回)、「アーク溶接研修」(3回)、「油圧回路研修」(3回)、「小型ディーゼル機関開放研修」(2回)を実施した。

参加者総数は、4ページに示す参加実績表のとおり、17社48名であった。

(3) 調査・報告活動

①各種調査

例年のとおり以下の調査を実施し、報告書にまとめ、関係専門委員及び会員に配布した。

「曳船燃料油価格調査」、「賃金調査」及び「臨時手当調査」

②「会員・所属タグ一覧表」の作成・発行

令和2年1月1日現在の会員について、組織概要並びに所属タグの現況調査を実施し、同年1月に「会員・所属タグ一覧表」を作成・発行し、会員及び関係先に配布した。

③調査統計報告書の作成・発行

令和2年1月1日現在の会員の運航タグ及び船員関係調査等の集計に基づく、「会員所属タグ調査統計並びに全国港湾入港船舶数抽出値統計」の報告書を作成し、会員及び関係先に配布した。

④機関誌「ハーバータグ」等の発行

令和2年1月20日に第50号を発行し、会員及び関係先に配布した。また、令和元年7月、「タグ事業協会だより」をホームページに掲載した。

4. 会員数

平成31年4月1日における会員数

特別会員	11名	正会員	88名	計99名
------	-----	-----	-----	------

令和2年3月31日における会員数

特別会員	11名	正会員	88名	計99名
------	-----	-----	-----	------

5. 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので附属明細書は作成しない。

以上

令和元年度タグ乗組員技術研修等参加実績

(1) タグ乗組員「技術研修」

研修の種類	回数	開催日程	開催地
タグ乗組員技術研修	第1回 東日本地区	令和元年9月6日	横浜市 (5社 18名)
	第2回 西日本地区	令和元年11月8日	神戸市 (8社 12名)

(2) タグ乗組員「委託研修」

研修の種類	開講回数	開催日程	受講人数
タグシミュレータ研修 (定員3～6名/回)	第1回	令和元年7月23日～24日	取り止め
	第2回	令和元年11月12日～13日	5名
	第3回	令和2年2月18日～19日	4名
		計	8社 9名
電気研修(初級) (定員3～5名/回)	第1回	令和元年5月14日～15日	取り止め
	第2回	令和元年10月8日～9日	4名
	第3回	令和2年1月21日～22日	3名
	第4回	令和2年3月10日～11日	3名
	計	5社 10名	
アーク溶接研修 (定員4名/回)	第1回	平成31年4月8日～9日	2名
	第2回	令和元年6月24日～25日	1名
	第3回	令和元年8月26日～27日	1名
	第4回	令和2年1月27日～28日	
	計	4社 4名	
油圧回路研修 (定員3～5名/回)	第1回	令和元年5月16日～17日	取り止め
	第2回	令和元年10月10日～11日	4名
	第3回	令和2年1月23日～24日	3名
	第4回	令和2年3月12日～13日	3名
	計	5社 10名	
タグBRM訓練研修 (定員4名/回)	第1回	令和元年7月25日～26日	取り止め
	第2回	令和元年11月14日～15日	4名
	第3回	令和2年2月20日～21日	4名
		計	7社 8名
小型ターボ機関開放研修 (定員4名/回)	第1回	平成31年4月25日～26日	取り止め
	第2回	令和元年6月20日～21日	4名
	第3回	令和元年10月17日～18日	3名
		計	5社 7名
		総 計	17社 48名

※電気、油圧研修連続参加者については
カウント2としている